

2022年10月12日

各 位

東京都台東区東上野一丁目7番15号
ヒューリック東上野一丁目ビル5階
株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号:6255 東証グロース)
問合せ先 専務取締役 廣澤 一夫
(TEL 03-6240-1206)

中期経営計画に関するお知らせ

当社の2023年8月期から2025年8月期までの3ヵ年を対象とする中期経営計画について、下記のとおりお知らせいたします

記

1. 中期経営計画公表の背景

当社は、太陽電池製造装置やFA装置の提供をはじめとする装置関連事業と、太陽光発電所の検査、太陽光パネルのリユース販売や中間処理、太陽光パネル解体装置の提供、植物工場ビジネスなどの環境関連事業を国内外に向けて展開してまいりましたが、当社の主要な事業分野である太陽光発電関連の事業は政策の影響を受けるため見通しが立ちにくく、中長期的な業績目標を開示することが難しい状況でありました。

この度、世界的な再生可能エネルギー需要の高まりに伴い、太陽光発電市場の中長期的な安定成長が見込めるようになったこと、また、多角的に展開してきた事業の目途が立つようになり、中期的な業績見通しが可能となりましたので、中期経営計画を公表いたします。

2. 中期計画の基本方針

米国太陽光発電市場は再生可能エネルギー需要の高まりと政策的支援を背景に長期的な市場の成長が予測されています。また、国内電子部品業界は需要の高まりを受け継続的な設備投資が見込まれています。当社は、これらの業界へ装置を提供することを事業の主軸としながら、今後ニーズの高まりが予想される太陽光パネルのリサイクル装置の提供や、FA装置の更なる顧客の獲得、太陽光パネルの検査、リユース・リサイクル、植物工場などのストックビジネスの蓄積、また産業廃棄物処理業界向けの新しい製品やサービスの投入によって事業領域を拡大することで、事業バランスの最適化と安定的な成長を目指します。また、松山工場の生産体制を強化し、需要の増加に対応してまいります。

一方で、部品の長納期化と値上げの状況が継続しておりますが、利益を確保するために引き続き仕入先及び顧客との交渉により影響を軽減してまいります。

3. 数値目標（連結）

（百万円）

	2022年8月期 （実績）	2023年8月期 （計画）	2024年8月期 （計画）	2025年8月期 （計画）
売上高	4,379	9,034	9,300	9,700
装置関連事業	4,090	8,409	8,500	8,600
環境関連事業	288	624	800	1,100
営業利益	620	342	750	1,000

米国太陽電池業界、国内電子部品業界の主要顧客による中期的設備投資の継続や、太陽光パネル解体装置の販売台数増加を見込んでいます。

なお、部品の長納期化や部品価格の値上がりの影響を強く受け、主に2023年8月期、2024年8月期の利益率が低調となる見込みです。

※上記予想は、本資料公表日現在において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

4. その他

2022年10月14日に開示する2022年8月期決算説明会資料にも詳細を記載いたしますので、ご覧ください。

以 上